

発生日時	平成 25 年 6 月 18 日 (火)			9 時 50 分	天候	晴
工事情報	河川事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	NTT引き込み線損傷(1軒不通)		
事故概要	足場固めのために走行していたバックホウ(0.2m3)が架空線(NTT引き込み線)を切断したものの。 公衆損害—架空線・標識等損傷					

事故発生状況



- ・除草作業に先立ち、足場を固めるため、バックホウにて走行していた。
- ・途中で地面が上り勾配になっていたが、気づかずに進行していたため、アームが架空線に接触し、切断してしまった。
- ・のぼり旗や三角旗等の注意喚起措置は未実施であった。

【事故発生原因】

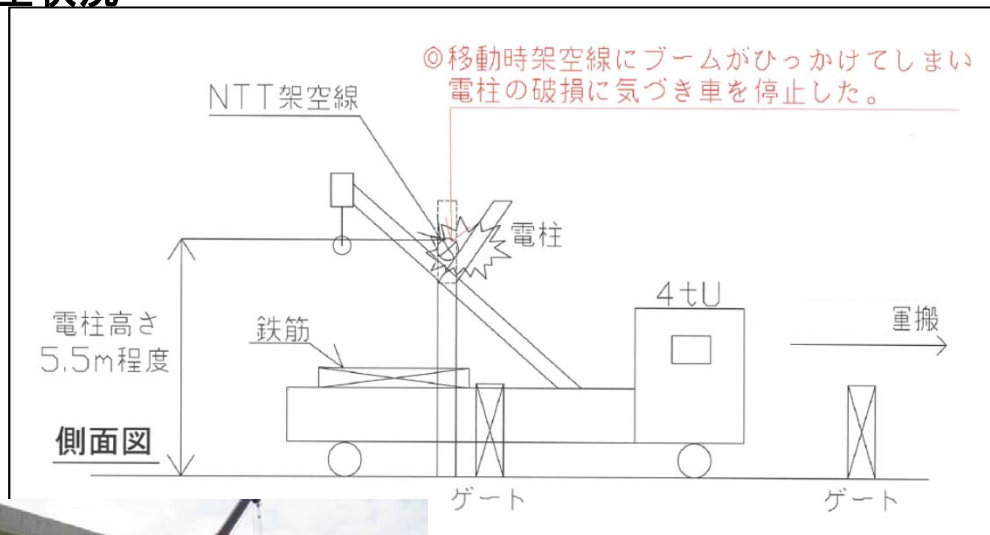
- ・架空線に対する注意喚起不足
など

【事故防止のポイント】

- ・事前に現場をよく調査し、接触の危険性がある場合には注意喚起を講ずる。
など

発生日時	平成 25 年 6 月 25 日 (火)			天候	晴
工事情報	道路事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	NTT柱損傷	
事故概要	作業ヤードで加工を行った鉄筋を、4tユニック車を用いて積み込み、場内運搬を行っていたが、ユニック車のブーム格納を忘れたまま、道路を横断したとき、NTTの通信線にブームを引掛け、支柱を損傷させたもの。				
	公衆損害—架空線・標識等損傷				

事故発生状況



- ・作業ヤードで加工を行った鉄筋を、4tユニック車を用いて積み込み、それを運搬し、鉄筋荷上げ用クレーンにて荷上げを行う作業になっていた。
- ・ユニックによる荷台への積み込みが終わり、場内運搬を行うため走行を開始したが、使用していたユニックのブーム格納を忘れていたため、積み込み場所に近接する道路を横断したとき、NTTの通信線にブームを引っ掛け支柱を曲げた。
- ・のぼり、三角旗等の注意喚起措置は実施されていなかった。

【事故発生原因】

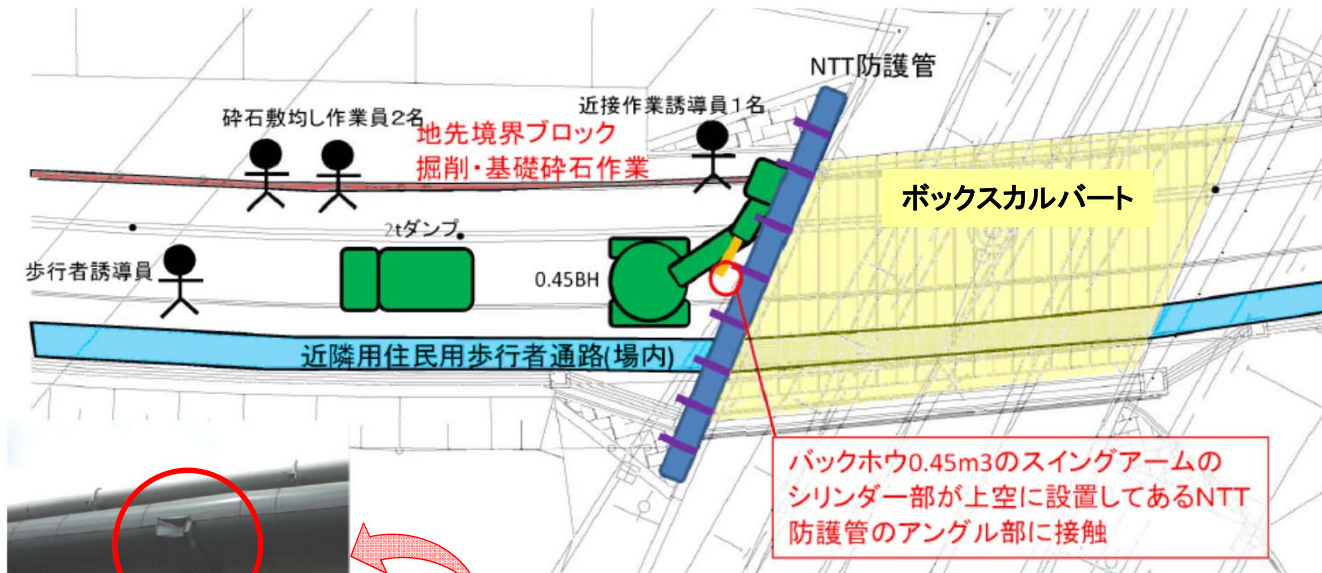
- ・架空線に対する注意喚起不足
など

【事故防止のポイント】

- ・事前に現場をよく調査し、接触の危険性がある場合には注意喚起を講ずる。
など

発生日時	平成 25 年 8 月 20 日 (火) 11 時 50 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	NTT防護管(アングル部)損傷	
事故概要	工事現場内のボックスカルバートに添架されているNTT管の防護管(アングル部)にバックホウのシリンダーが接触し、防護管(アングル部)が損傷したもの。 公衆損害—架空線・標識等損傷				

事故発生状況



ここが接触

・現場内で地先境界ブロックの掘削作業を誘導員の合図の元にバックホウ(0.45m3)にて行っていた。

・ボックスカルバート付近に取り掛かり、端部で掘削作業を行っているとオペレーターが判断し、バックホウのスイング式アームをスライドさせたところ、アーム後方のシリンダーがボックスカルバート側に突出し、ボックスカルバートの横に設置されていたNTTの防護管のブラケット部分に接触し、損傷を与えた。

【事故発生原因】
 ・近接構造物に対する安全対策や作業員への注意が不十分など

【事故防止のポイント】
 ・構造物に近接して作業を実施する際の手順を周知・徹底する。など

発生日時	平成 25 年 9 月 19 日 (木)			11 時 2 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	出張所壁面損傷		
事故概要	堤防除草作業においてミニバックホウと除草機械の入れ替え作業中に出張所構内の車庫への空中線及び支線をバックホウのアームで引っ掛け、車庫の壁面を破損したもの。					
	公衆損害—架空線・標識等損傷					

事故発生状況



破損箇所(壁面)

電話線

支線(電話線に負担が掛からないよう事故後に端部を屋根の上に移動)



支線

固定金具及び破損壁面



つかみ装置付きバックホウ

・堤防除草においてつる草の繁茂が著しく、ハンドガイド式除草機では作業が困難であったため、0.1m³バックホウ(つかみ装置付き)にてつる草の除去を行った。

・近傍にスペースがなかったため、除草機を出張所構内に運搬・仮置きし、つる草除去作業終了後再び除草機とバックホウを入れ替える作業中、空中線(構内の電話引き込み線)及び支線をバックホウのアームで引っ掛け、車庫の壁面を破損させた。

・重機の誘導員は配置されていなかった。

・バックホウがつかみ装置付きであったため、通常よりもアームが上がった状態で走行していた。

【事故発生原因】

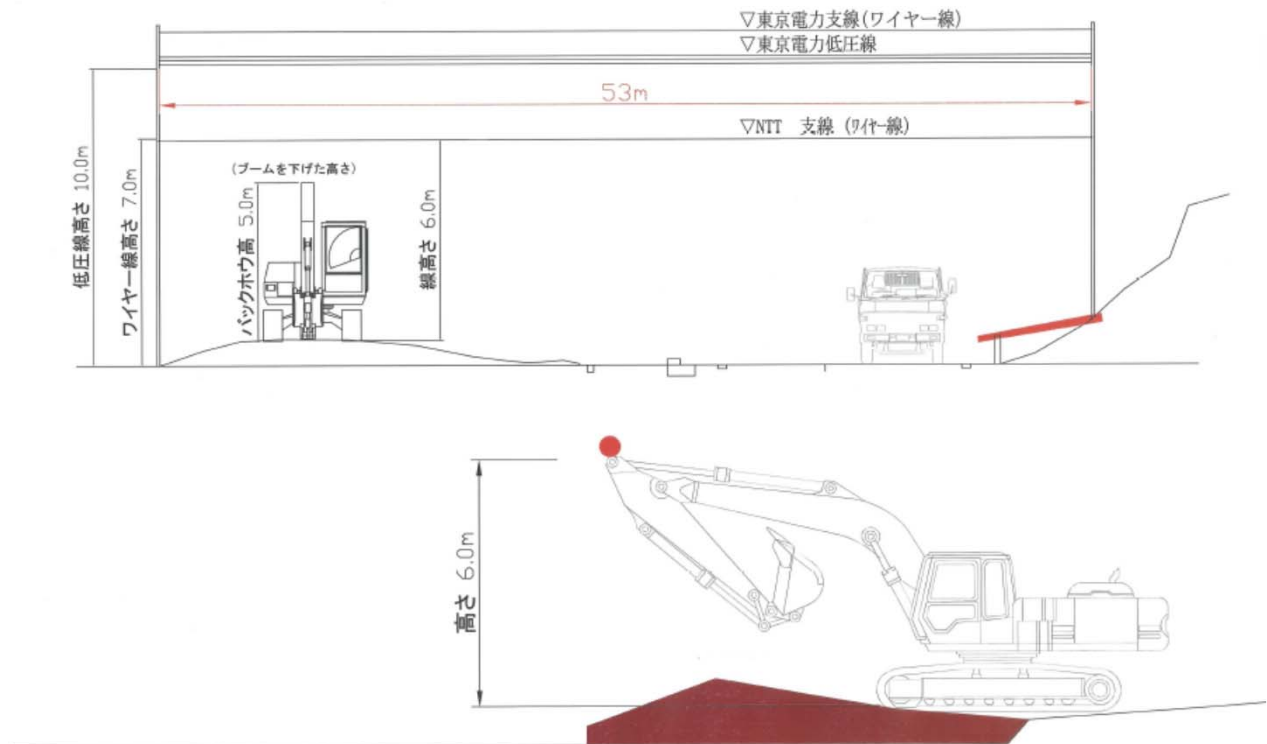
- ・架空線に対する安全管理不足など

【事故防止のポイント】

- ・作業前に現地をよく確認し、必要な安全措施(誘導員配置など)を実施するなど

発生日時	平成 26 年 1 月 25 日 (土) 14 時 50 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	電柱倒壊、国道片側通行止め(約1時間30分)	
事故概要	国道沿いの発生土置場にて発生土の積込搬出作業を行っており、バックホウにて発生土の積込を行うため自走していた際に、架空線にブームが引っかかり、電柱を倒した。電柱は国道側に倒れ、一時片側通行止めとなった。 公衆損害—架空線・標識等損傷				

事故発生状況



- ・バックホウ(0.7m³)を用いて10tダンプトラックに残土を積み込み搬出を行っていた。
- ・積み場の残土がなくなったので敷地置くの残土山を崩すために敷地を横断していた支線の下を走行し残土側へ移動した。
- ・搬出していた10tダンプトラックが戻ってきたので積み込みを行う為に支線の下を走行しようとし、バックホウのブームが支線と接触したために支線に引っ張られ上り線側の引き込み柱が車線側に転倒した。
- ・その影響で、国道が一時、片側通行止めとなった。

【事故発生原因】

- ・バックホウのブームが下がりきって
いなかった。
など

【事故防止のポイント】

- ・架空線等付近にてバックホウを移動する
際はアームを下げることを徹底する。
など